

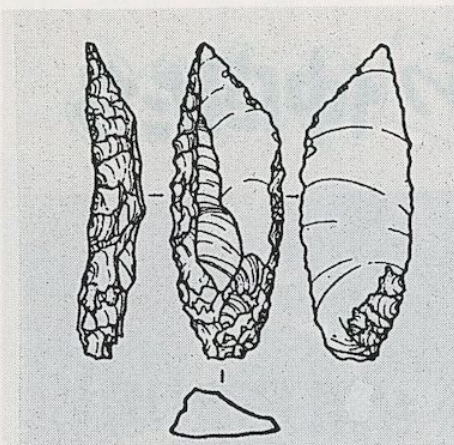
土の中からのメッセージ(1)

豊かな自然に恵まれ、美濃加茂には古くから人々が生活を始めていました。その生活の跡である遺跡やそこで見つかる遺物は私たちにいろいろなことを知らせてくれています。今月から、紙面の許す限り、地区ごとに市内の遺跡を紹介していきます。

市域西部に位置する加茂野町はほぼ全域が標高約七〇mの緩やかな平坦地となっています。

富加町に接する北野遺跡(富加駅の北西)は、今から約一万年以上前と推定されるナイフ形石器や石器を作った時の石核などが多数採集されています。市内で最も古い旧石器時代の遺跡で、県内でも代表的な遺跡といえます。

昭和四十二年に発掘調査された南野遺跡(字南野)は弥生か



北野遺跡のナイフ形石器

ら古墳時代にかけての住居址が四軒見つかっています。それにともなつて出土した多数の石器の中で有孔磨製石鏃(ゆうこうませいせきざく)(表面を磨き上げ基部に穴をあけた「やじり」は貴重なもので、実用を越えた祭祀用(さいし)に作られたものとも考えられています。

今回は、次の方々から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

○古書類 二十六点
(平成四年三月分)

○考古資料(打製石斧など) 二十五点
(梅田武さん/下米田町)

○石臼、養蚕関係資料など 十五点
(中島清海さん/山之上町)

○モミスリキ、古書類 約百点
(間宮立文さん、/加茂野町)

○土雛 九点
(溝口稔さん/本郷町)

○手織り木綿着物など 四点

(大畑守道さん/本郷町)
近い将来の博物館建設に向けて情報や資料を集めています。資料は見せていただくだけでも結構ですので、市社会教育課(内線三六二)まで情報をお寄せください。